

GREEN RANGER NEWS

2019年5月号

Vol.306



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■4月の活動報告

【定例会】4月14日(日)

白石川沿いの桜は満開だが、ここ標高 700m 程の「森づくり自然園」自慢のオオヤマザクラの蕾は固い。作業打合せ後、作業小屋掃除班を残し、ツリーハウスの防腐剤塗り・マイツリー計測の班はリスの森へ。風もなく暖かい、キクザキイチゲやカタクリが迎えてくれた。防腐剤塗りの傍ら、梯子を補修し、安全を確認する。作業小屋への帰り、「いた！」「ヒメギフチョウ」。もう1頭(とう)飛んで行き、カタクリの蜜に夢中になっている。まだ羽化したばかりらしいが、もうすぐトウゴクサイシンに産卵するのだろう。昼食後、「春を食べる会&ブナの森コンサート」の打合せ、そして「8mを超えている樹種と本数」の説明を聞く。植林した苗が、樹高8mを超えている本数が近年とみに増えているという。ここに最初のトラスト地を取得してから20年目、植林から育林へ、その成長を励みに「森づくり自然園」の活動はつづく。参加者:10名

【荒浜海岸にもみからすき込み】4月21日(日)

荒浜地区海岸防災林「彩遊の森」にて活動。昨年12月に植えた苗木300本の回りに、戴いたもみ殻をすき込んだ。苗木は殆ど活着している様子。7月28日に手入れや生育状況の確認を行う予定。参加者:7名

【春を食べる会&ブナの森コンサート】4月28日(日)

大型連休2日目、晴れ。10時開始の予定が、9時半には参加者が集まる。山菜料理に期待しているのかな?参加申し込みは期限を過ぎてからもあり、参加者は一般の方24名、演奏者15名、会員13名、計62名となる。午前中は、観察路の散策。その間、残った会員は作業小屋で山菜料理に悪戦苦闘。今年も三浦さんが4つの鍋を使い天ぷらを揚げてくれた。また、沢山の方にお手伝いいただき本当に助かった。心から感謝!

お昼は、皆さんお待ちかねの「春を食べる会」。例年より山菜・木の芽の種類は少なかったが、タラノメ、コゴミ、ワラビ、アイコ、ウルイ、シドケ、ウド、イワガラミ等。ほんの一口しか食べられないものもあったが、みんな満腹、満腹。食材集めを一手に引き受け、何日も奔走してくれた仲村さん、ありがとう! 午後は、「第3回 ブナの森コンサート」。作業小屋前の広場で、3つの団体に1時間半にわたって演奏して戴いた。女性コーラスの〈アンフィル〉は、『旅立ちの日に』『カントリーロード』等の美しいハーモニーを。〈レディースヴォーカルグループ JOY さくら〉は、『私がおばさんになっても』『ロマンティックが止まらない』等の明るく元気っぱいの歌を。〈クラリネット・カルテット 素敵なヨカン〉は、『星に願いを』『ムーンライト・セレナーデ』等の夜のムード漂う優しいメロディーを。春らんまんの森の中で、憩いのひと時を味わうことができた。演奏者の皆さん、本当にありがとうございました!(参加者62名)



【マイツリー見学者の案内】 4月30日(火)

雨。家族でマイツリーに登録しているFさん一家6人が、盛岡から来てくれた。小雨が降る中、自分の木を探し記念に写真を撮った。小・中・高校生の3人は、10年・20年・30年後、人生の節目ごとに会いに来てくれたら嬉しいなあ。

雨のため作業小屋の中で、仲村さん手作りの積み木を使い木の名前合わせをして遊ぶ。大人も夢中になって楽しく遊んだ。手触りが良いし、木の名前を覚えるのにも役立ちそう。ぜひ会員の皆さんも挑戦を！（参加者8名）



■5月の活動報告

[森の教室]5月5日(日)

五月晴れ。午前中は青少年野営場の散策。グリーンレンジャーが活動を始めた1990年時点の野営場は、赤土が広がり『荒地』そのものだった。試行錯誤しながらポット苗を育て、93年に開催した大植林祭には200名もの人が集まり4,000本を植林した。あの頃は、会員もあふれんばかりのエネルギーに満ちて活動していた。懐かしい思い出である。仲村さんの案内で歩いてみると、想像以上にブナが大きく育っていた。しかし、ヤマハンノキの枝打ちや間伐をしていないため、他の木々の成長の妨げになっているものも多かった。管理棟近くの道路際に多数植えたオオバヤシャブシは、大木になっているものもあったが、多くはパイオニアプラントの役目を終え自然に帰っていった。

98年頃に取り組んだ、石がごろごろして草も生えていなかった場所も、木々が育ち昔の面影は全くなかった。自然の力は素晴らしい！今回参加できなかった人にも是非見てほしいので、近い内にまた行きましよう。作業小屋に戻り、仲村さんから「荒浜海岸植林についての考察」を聴く。

午後は、リスの森の混交林地の伸びの計測。約50本の広葉樹の胸高周囲と樹高を計測した。その後、リスの森の散策。野営場と比べると、手入れをしている森は明るい。

作業小屋に戻り、仲村さんから「荒浜海岸植林についての考察」を聴く。

《考察の要約》(文責:白内)

「昨年12月に植林し、今年4月にパークともみ殻をすき込み、酸素と有機物を土の中に入れた。酸素を入れる目的は、土の中の有機物を腐らせ樹木の養分とするため。植林木の中心にケヤキを選んだのは、根を張る力が強く、強風、乾燥、やせ地等の悪条件に強いから。

私たちの植林場所は『安定帯』と言っていい。近くに貞山堀があり、パイオニアプラントであるヤナギ類の実生が見られる。

植林地については、5年、10年という考え方をした方がよい。1年ごとの確認については、秋に冬芽を見て判断する。樹木は伸びる条件が整うまでは伸びてくれない。さて、どうなるか。」

※今年の海岸林での活動は、7月28日、9月8日に行う予定。（参加者7名）

■5月の活動案内

[森の教室]

開催日 5月26日(日)

集 合 作業小屋 10時

内 容 6月行事の下調べ、二ツ森登山

★昨年参加できなかった方は、この機会を逃さず是非、ご参加ください。

■6月の活動案内

[不条枝の枝打ち・間伐(子供は鋸の体験)、観察路散策]

日時 : 6月9日(日) 午前10時~午後2時

場所 : 蔵王のブナと水を守る会 丸太小屋

受付 : 午前9時30分

10:00 開会(丸太小屋前)

10:15 作業開始

12:00 昼食(丸太小屋前)

13:00 自然観察路散策

14:00 解散

参加費 : 大人600円(保険料込)、小学生以下100円(保険料)

持ち物 : 昼食、飲み物、雨具、軍手、長靴

申込み締め切り : 6月1日(土)

[森の教室]

開催日 6月23日(日)

集 合 作業小屋 10時

内 容 小原トラスト地の観察会

※定例会、森の教室ともに電車利用の方は、丹野さんに連絡してください。

電話(080-5575-5334)